

平成24年第2回（2月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

学校においては、小学校では昨年の4月から、また中学校では今年の4月から新しい学習指導要領による教育が行われ、子ども達に「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」のバランスのとれた力、すなわち『生きる力』を一層はぐくんでいくため、学習内容の充実や授業の時間数の増加などが行われます。

一方、子どもを取り巻く環境としては、家庭や地域の教育力低下が指摘されていることに加え、子どもの基本的な生活習慣の乱れや学習意欲の低下、体験活動の不足、コミュニケーション能力の低下など子どもに関する多くの課題が指摘され、それらの解決に向けては、学校、家庭、地域の連携協力の必要性が、改正された教育基本法や社会教育法においても規定されています。

本市においては、昨年発表された児童生徒の問題行動調査結果において不登校や暴力行為等の増加や、学力の向上など早急に取り組まなければならない課題があります。これらの解決には、学校、家庭、地域が一体となって地域全体で学校教育を支援し、地域ぐるみで子どもの教育を推進していくことをねらいとした「学校支援地域本部事業」に取り組ん

でいくことが効果的な解決方法であると考えており、実施校を年次的に増やしていきたいと考えています。

「学校支援地域本部事業」により、家庭や地域に対して積極的に情報提供を行うとともに、地域人材の活用などにより「開かれた学校づくり」「信頼される学校づくり」を一層推進していきたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

以上申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 玉津小学校の統廃合準備委員会について

先の11月議会で報告させていただいたとおり、玉津小学校は平成25年4月に邑久小学校に統合するため、地元住民や学校関係者による準備委員会を立ち上げ、準備作業に着手しております。

そのひとつとして、玉津小学校統廃合準備委員会を昨年12月14日に立ち上げております。玉津小学校区のコミュニティ組織、行政委員、民生・児童委員、老人会の代表者と学校、保護者、学校評議員等で組織し、児童の通学方法や学校の跡地利用、閉校記念式典等を検討していくことにしております。

また、もうひとつ邑久小学校・玉津小学校統合準備委員会を今年1月18日に立ち上げております。両校の校長、教頭や保護者代表で組織し、学校の教育目標や教育課程、教材や備品関係、児童や保護者の交流事業、PTA組織等について協議していくことにしております。

既に、邑久小学校のPTA事業に玉津小学校保護者が参加したり、玉津小

学校児童が邑久小学校の授業見学に行ったりするとともに、今後、交流学習の実施や路線バスの体験等を計画しております。また複式授業解消のため加配教員の増員を県へ要望しており、その他関係の予算措置を平成24年度当初予算に計上しているところです。

教育委員会では、それぞれの準備委員会で地域住民や学校現場の意見・要望等を十分聴きながら協議していき、円滑な統廃合が進むように努めていきたいと考えております。

○ 玉津幼稚園の休園について

平成24年度の幼稚園入園募集は昨年12月に行い、その後随時入園の受付を行っておりますが、玉津幼稚園への入園希望者は今のところいない状況となっております。また、現在1名の園児が在園していますが、今年度で卒園することになっています。このような状況から、裳掛幼稚園と同様に平成24年4月から玉津幼稚園を休園することとしています。

今後、再開の目安は、保育園の入園状況をみながら、集団生活の中で保育・教育環境を考慮して判断していきたいと考えております。

○ 保幼小連携について

豊かな心の育成及び学力の向上は、本市の学校教育において重要な課題です。この課題解決に向けて、重要となっているのが就学前教育の充実とスムーズな義務教育への導入です。そのために、これまで十分でなかった保育園と幼稚園との連携、そして保幼小と小学校との連携を推進する必要があります。

教育委員会では、保幼小連携事業を本年度の「教育重点目標と施策」の中の就学前教育の重点事項と位置づけて、保健福祉部と連携しながらアンケート調査や研修会等を実施してきました。新年度におきましてもカリキュラムの作成等について引き続き検討していきたいと考えております。

○ 学校支援地域本部事業について

本年度から国府小学校と邑久中学校で取り組んでいる「学校支援地域本部事業」についてでございますが、2月8日現在、国府小学校では延べ277人のボランティアの皆さんに、毎週火曜日の朝のあいさつ運動、環境美化活動や学習支援活動、地域の特徴を活かした体験活動等に取り組んでいただいております。子ども達が元気にあいさつができるようになるなど成果も出てきております。邑久中学校でも、延べ144人のボランティアの皆さんに、毎月10日と毎週水曜日の朝のあいさつ運動、第4水曜日の午後のあいさつ運動やマラソン大会時の声掛け等見守り活動に取り組んでいただいております。

来年度は、牛窓北小学校と邑久小学校でも事業に取り組み、学校・家庭・地域の連携による教育支援活動を促進し、学校運営や教育活動をより充実させるとともに活力ある地域社会づくりを進めていきたいと考えております。

○ 社会教育課の組織について

新瀬戸内市立図書館の整備開設に向けて、来年度から社会教育課内に新図書館開設準備室を設置し、設計、建設、サービス計画策定等、開設準備

に関する業務の遂行、並びに進捗状況の情報発信等を進めたいと考えております。

○ 美術館特別展の開催について

美術館の初めての特別展として日本画壇の重鎮、日本画家・平山郁夫展「一次世代への伝言（メッセージ）」を1月13日から開催しております。2月23日現在で3,868人の観覧者がありました。また、この特別展にあわせ平山郁夫美術館の平山助成館長を講師に迎え記念講演会を2月5日に開催し、約170名に聴講いただきました。

今後、2月29日から4月10日まで開催される、画壇の仙人と呼ばれた熊谷守一画伯の油彩画のほか約160点を前・後期に一部入替えて展示する特別展「小さな画面に無限の世界 熊谷守一展」を予定しております。

文化・芸術活動の成果を発表する場としての3階のギャラリーでは、寒風陶芸会館で龍をテーマにした絵付体験に参加された方の作品約50点を展示した「龍の絵皿で新年を祝おう」展を1月5日から8日まで開催し、約210名が来場しました。

今後も美術館のファンが増え、地域の文化振興が図られるよう取り組んで参ります。

○ 図書館整備について

新図書館整備につきましては、去る2月9日に開催されました総務文教常任委員会において、建設予定地について中央公民館北側の郷土資料館を解体した上で、公民館との一体的な整備を図り、瀬戸内市の生涯学習の拠

点施設としての整備を図りたいという考えを示させていただいたところ
あります。

建設地選定理由といたしましては、第一に、新図書館の建設に当たり、
新図書館内に郷土資料館機能の一部を移転することにより、郷土資料コー
ナーの充実を図るとともに、隣接の中央公民館と連携することにより、生
涯学習施設の拠点とすることが、教育委員会として最も重視した点でござ
います。

第二に、利用者の利便性という面であります。市の人口の40%の人口
が集まっている地域であり、教育施設、市役所、市民病院や商業施設が近
く、徒歩や自転車でも安全にアクセスできるとともに、邑久駅や路線バス
のバス停が近くにあり、交通アクセスに恵まれており、利用者の利便性が
高いことが上げられます。

第三の理由としましては、市有地の有効活用を図ることができるという
点です。市有地ということで、用地買収費の抑制が図れることに加え、耐
震基準が満たされていない郷土資料館の解体を図書館事業の一環として合
併特例債を活用して行えるなど、財政的な合理性も高いことから、最適地
であると考えたところでもあります。

なお、敷地内で不足する図書館駐車場等については、候補地の地権者の
方をお願いをさせていただいておりましたが、一定のご理解、ご協力をい
ただける目途が立ちました。今後、詳細な交渉調整事項の手続を進め、諸
条件が確定され次第、補正予算案を提出させていただき、整備計画の推進
を図りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

また、「新瀬戸内市立図書館整備基本計画」は、3月末に正式発表させて

いただく予定ですが、今議会中の総務文教常任委員会において、案文のご報告をさせていただきたいと考えております。

○ 備前長船刀剣博物館特別展の開催について

備前長船を代表する日本刀と日本を代表するサブカルチャーである漫画・アニメの世界と融合した展示として、本年度『戦国 BASARA』HERO 武器・武具列伝を開催し多くの若い世代の来館をいただいたところであります。

平成24年度は、日本刀職方やアニメクリエイター、玩具製作者などと共同で、伝統技術である日本刀の「ものづくり」の新たな表現を目指し、若者への日本刀文化、ものづくりへの理解を深めていただくよう特別展『新日本刀版エヴァンゲリオン展』を7月14日～9月17日にかけて計画しております。

○ 瀬戸内市長船B & G海洋センタープールについて

施設の老朽化や利用者の安全性と利便性の向上のため実施した改修工事が2月29日に竣工いたします。修繕工事の総額は44,052,855円で内B & G財団から23,300,000円の助成金を受けております。

今回の改修で、施設内のバリアフリー化を行い、段差をなくし、車椅子でプールサイドまで入れ、シニア・女性の方にも優しい入水階段の設置や、多目的トイレの設置など様々な方が利用しやすいものとなっております。

6月19日には、シドニーオリンピック銀メダリストの中村真衣さんをお迎えし、完成記念行事を計画しています。

また、平成25年度から長船B&G海洋センタープールの指定管理も視野に入れ、運営が円滑にいくように現在計画的なB&G指導員の養成を行っています。

今回の大規模改修により、新たな市民の利用者が増え、国府小学校との共同運営で年間の利用率もますます上がっていくように、様々な努力をしております。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成24年2月24日

瀬戸内市教育委員会

教育長 山崎 宗則